

東大宇宙博士が教える やわらか宇宙講座

(井筒智彦 著)

発行所：東洋経済新報社、定価：1,760円(税込)

「宇宙人は本当にいるの?」「ブラックホールの正体は?」「火星移住はいつできる?」など、宇宙について知っておきたいことや話題のトピックが一冊でぜんぶわかるエンタメ教養書です。

登場人物は新米編集者・トーコと、井筒博士。2人の会話を読み進めていくだけで、いつの間にか宇宙に詳しくなっていきます。難しい数式はなく、楽しいイラストが満載。物理や数学が苦手な人にもわかりやすいのが特徴で、ワクワクしながら宇宙の魅力に引き込まれていきます。小学校高学年くらいから読めるので親子で学んだり、「大人の学び直し」にも最適です。読後は世界が広がり、地球を尊く感じていることでしょう。〈出版社より〉



航空機産業の技術競争力と認証制度

(山崎文徳 著)

発行所：晃洋書房、定価：3,960円(税込)

本書では、アメリカ製造業の象徴であるボーイングが、グローバル市場における技術競争力を獲得し、喪失しつつある理由を、新自由主義や株主資本主義を背景とする政治経済環境と企業経営の変化、国家の認証制度との関係に着目して明らかにしている。ボーイングの「強み」であった要素は、今日では「弱み」に転じたのである。また、航空機を「つくる」段階には達する日本航空機産業が、「うる」段階だけでなく、「とばす」段階にも到達できない理由と課題を展望する。本書は、産業立国の根幹をなす品質管理や安全性で問題を抱える日本のモノづくりにも教訓を示す。〈著者より〉



やさしく学ぶ エアライン・ビジネスの世界

(株式会社 JAL 航空みらいラボ 著)

発行所：インプレス、定価：1,980円(税込)

本書は、航空業界を志望する方や航空業界について学びたい方を対象とし、「航空業界の基礎知識」「ビジネスモデルやマーケティング戦略」「職種別の業務内容」「今後の展望」といったエアライン・ビジネスの現状と課題を分かりやすくまとめた入門書です。産学連携の取り組みを通じて次世代の航空人財育成のサポートを行う JAL が大学で行った講義の資料をもとにしています。航空業界になじみがない方にも理解しやすいように図解やグラフ、写真を豊富に掲載しているほか、専門用語や関連事項についても丁寧に解説しました。現在の、そして未来の航空業界について理解を深めることができる1冊です。〈出版社より〉



宇宙ビジネス (中村友弥 著)

発行所：クロスメディア・パブリッシング

定価：1,848円(税込)

ロケットや人工衛星と聞くと遠い世界の話に思いますが、実際には農業、漁業、鉱業、金融、災害対策、地図、通信など、あらゆる産業で宇宙技術が活用され、私たちの生活を支えています。本書では、宇宙ビジネスメディア「宙畑(そらばたけ)」の編集長として長年、宇宙ビジネスの最前線取材してきた著者が、100を超える取材を通じて得た知見をもとに、宇宙ビジネスが解決する社会課題、次世代を支える技術、宇宙に住む・旅行する未来、そして宇宙ビジネスに関わる多様な仕事について紹介します。未来を切り開く驚きとワクワクが詰まった一冊です。宇宙が生み出す新たなビジネスの可能性を知り、日常生活がさらに豊かになる未来を想像しながら、「自分も関わってみたい」と思えるきっかけを提供します。〈出版社より〉



新着図書案内

- ① **Take off 安全飛行への招待**
(日本航空機操縦士協会 編/日本航空機操縦士協会)
- ② **乙式一型偵察機資料帖**
(横川裕一 著/PUBFUN)
- ③ **国際線外資系CAがシェアしたい 自分らしく生きるための人生の羅針盤** (Ryucrew 著/KADOKAWA)
- ④ **航空法学**
(中谷和弘、菅原貴与志 編/信山社出版)
- ⑤ **日本発運貨一般規則**
(オーエフシー)

- ⑥ **中部国際空港セントレア開港 20 周年記念 Anniversary book** (イカロス出版)
- ⑦ **ヘリコプター・フライング・ハンドブック 日本語版**
(Federal Aviation Administration 原著、日本航空技術協会 訳、日本航空技術協会 編/日本航空技術協会)
- ⑧ **ヘリコプター操縦教本**
(ヘリコプター操縦教本改訂 WG 編/日本航空機操縦士協会)
- ⑨ **公開研究会 航空資料の保存と活用** (国立文化財機構 東京文化財研究所 編/国立文化財機構東京文化財研究所)
- ⑩ **Mr.トルネード 藤田哲也 航空事故を激減させた男**
(佐々木健一 著/文藝春秋)